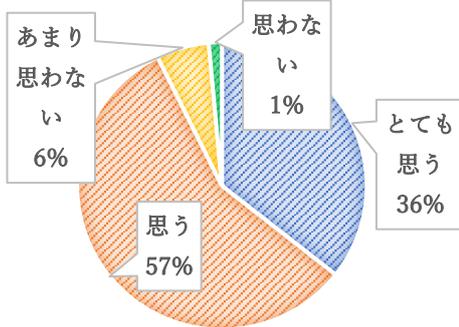


令和7年度 愛川中原中学校 生徒・保護者学校評価まとめ

生徒・保護者学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計とまとめについて、来年度の教育課程編成にむけて参考にさせていただきますながら、来年度のよりよい学校づくりをしていきます。よろしくお願いいたします。

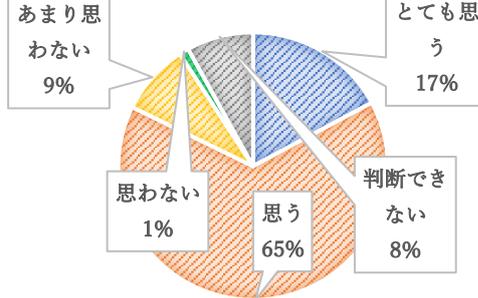
生徒

①学校へ楽しく通っている。



保護者

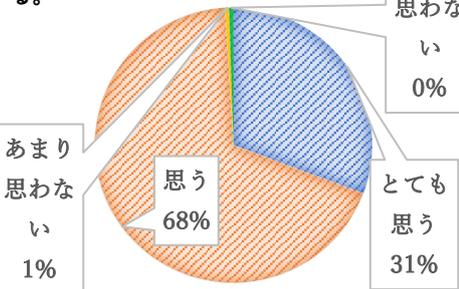
1.子どもは学校へ楽しく通っている。



生徒、保護者ともに約8割以上の肯定的な回答でした。「あまり思わない」「思わない」と回答した生徒については楽しいと思えるものが無かったり、学校生活のほとんどが「つらいこと」になっていたりすると考えられます。全員が「楽しい」と思える学校づくりをめざしていきたいと思っています。生徒が困っていることについて学校に発信ができる機会を継続します。また授業において生徒自ら取り組めるよう工夫し、学校行事など自分たちで取り組むことができる教育課程が組めるよう、計画を立てていきたいと思っています。

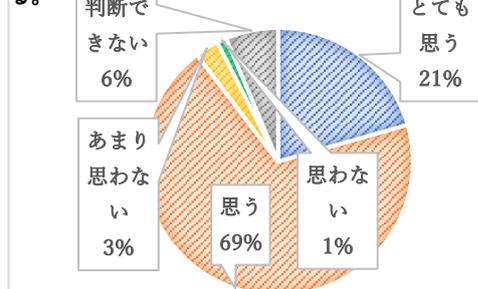
生徒

②安全を意識して、学校生活を送ることができる。



保護者

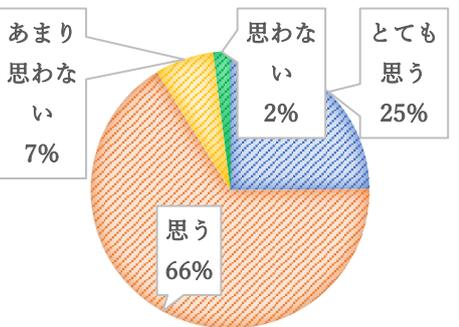
2.子どもは安全に学校生活を送ることができている。



9割の肯定的な回答をいただきました。生徒が関わりながら行っている訓練は避難訓練があります。また、救急救命講習(AEDの扱い方)は2年生で行い、職員研修でも行っています。また職員研修として防災訓練、避難所開設訓練、防犯訓練など学校では緊急時の対応の訓練を行い、今後もより安心安全な学校生活を送ることができるよう努力していきます。さらに生徒が安全に教育活動を行えるよう整備に努めていきます。

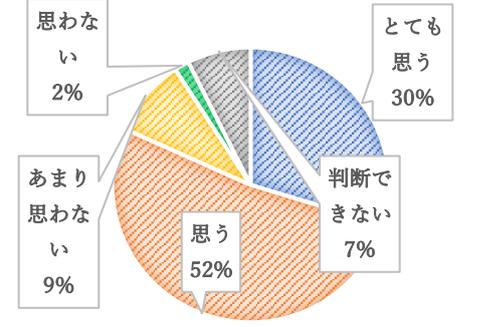
生徒

③学級活動・委員会活動・学校行事に自主的に取り組んでいる。



保護者

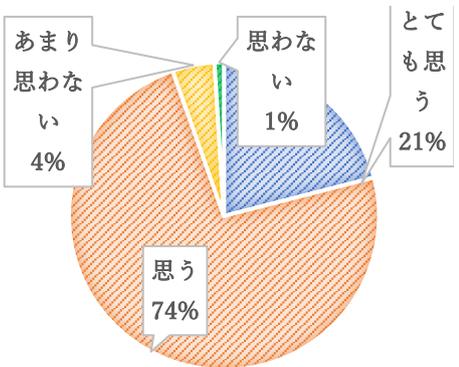
3.子どもは学級活動・委員会活動・学校行事に自主的に取り組んでいる。



8割以上の方から肯定的な回答をいただいています。生徒が少しでも興味をもったものに取り組めるよう生徒会、各種委員会、学級での係活動、2つの行事委員会を置き、リーダーを選出して運営をしています。また、今年度から地域でのボランティアに積極的に参加ができるよう『未来をひらく！アクション・ログ』の発行をしました。集団の一員として連帯感や達成感をもてる活動をめざし、自己有用感をもつことでそれぞれの役割を生徒同士が互いに認め励まし、感謝し生徒の頑張る姿に声をかけながら、みんなでよりよい学校生活をめざします。

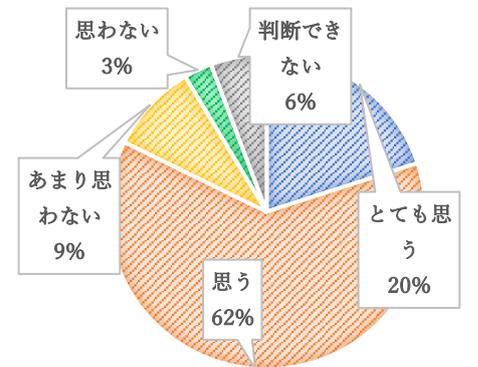
生徒

④授業がわかりやすい。

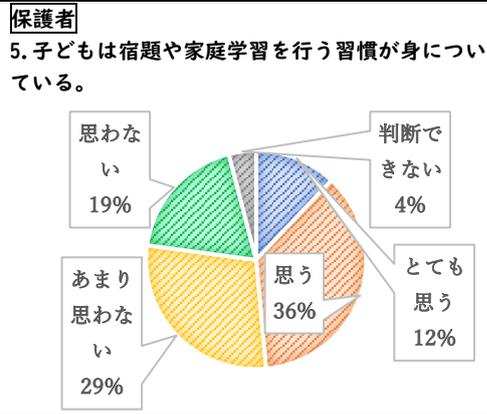
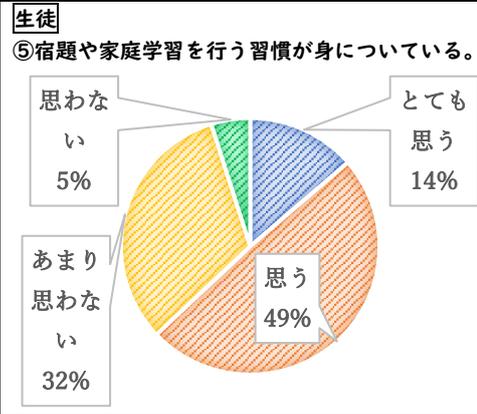


保護者

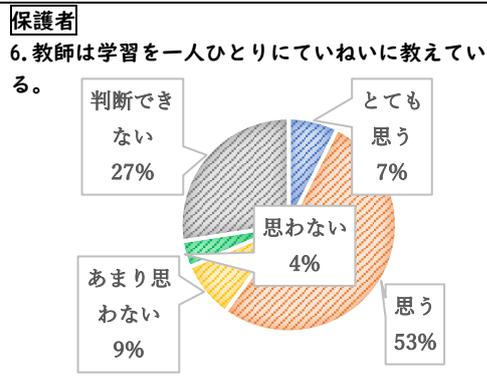
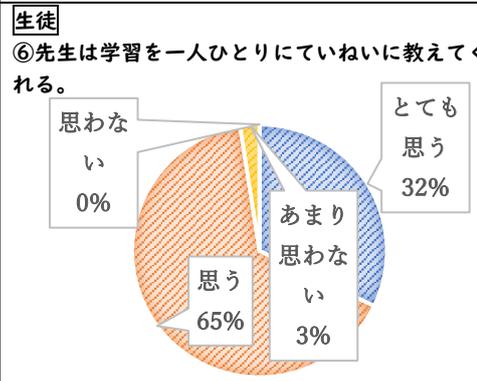
4.子どもは学校で好きな教科の授業がある。



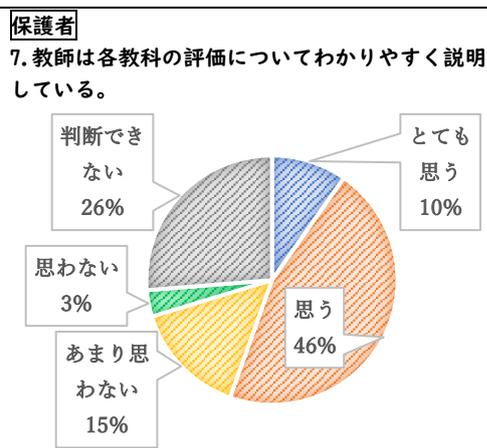
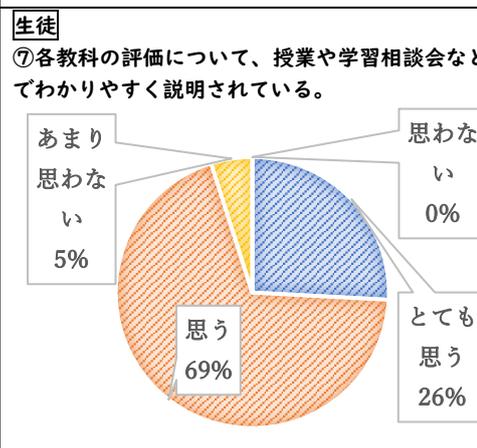
生徒の質問について肯定的な回答が9割以上得られました。今後も多くの生徒が授業に興味をもち、力をつけられるよう職員の研修を積みみたいと思います。「あまり思わない・思わない」との回答が5%近くありました。各教科で、本人が分かる言葉を使ったり既習事項を確認しながら行ったなどの配慮をしたいと思っています。好きな教科あることは学校へ登校する意欲につながるものと考えています。約8割の肯定的な回答でしたが、学校に通うのが難しい生徒にもできることを一緒に考えて実行していきたいと思っています。



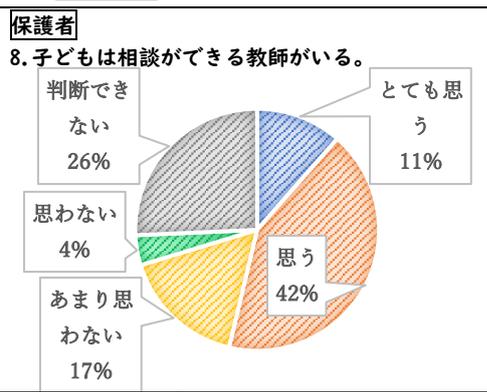
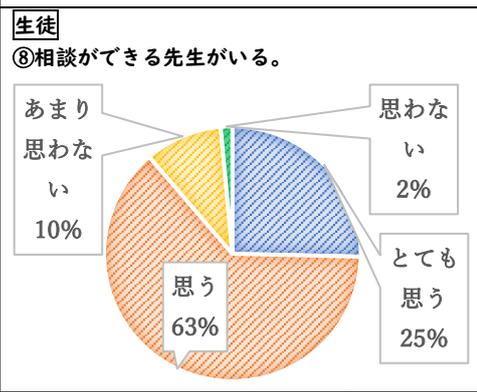
生徒は6割の肯定的な回答でしたが、家庭学習に課題があると感じている人もいます。保護者の方も48%の方が「あまり思わない・思わない」と回答しています。学校では学習指導のグループで話し合い、これまでよりも各教科で家庭学習の仕方や学習のポイントを詳しく生徒に伝えようと考えました。また、今後生徒が単元テストの日程を確認し学習計画が立てやすいようにしたいと思います。ご家庭では今後もお子様と話し合い、決めたルールや習慣を継続できるようにすることで、学習の定着が図れたらと思います。



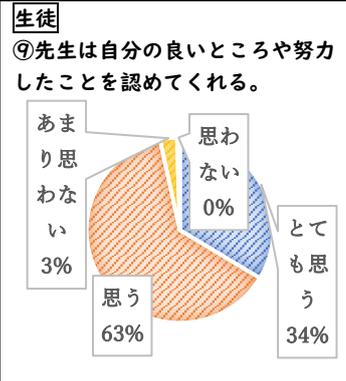
生徒からの回答は97%肯定的な回答でした。月曜日の放課後や学習相談会など時間を設けているのでぜひ活用してほしいと思います。また、授業後など先生を見つけて相談してほしいと思います。保護者からの「あまり思わない・思わない」という回答が13%ありました。三者面談などでご要望がありましたらお聞かせください。職員は来年度も授業研究を進めてまいります。授業の積み重ねを大切にし、生徒の力が伸びていくよう取り組んできたいと思っています。



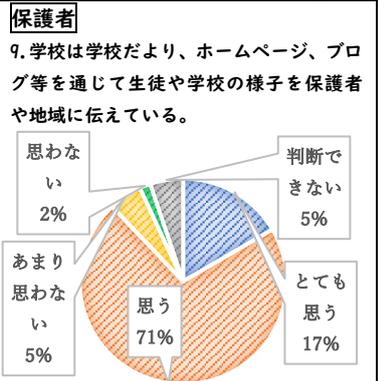
生徒は95%で肯定的な回答でした。授業研究とともに評価についても職員研修を行っています。テストだけでなく普段の授業においても記述や発言を中心に評価されることもあります。学習相談会においては、次の学びに向けてポイントを示すようにしているので、ぜひ生徒は足を運んでほしいと思います。保護者の方から「主体的に学習に取り組む態度」の評価について質問があります。授業中の取り組みやノートの記録、ワークシート、話し合い等の発言から「粘り強く取り組もうとしているか」「学習の調整ができてきているか」がポイントとなっています。



生徒の88%の回答から、多くの生徒が相談できる先生がいるという結果です。しかし保護者の方から「思わない」、「あまり思わない」と回答した21%の生徒については、先生に相談ができず悩み事を家庭で話している様子が窺えます。また、誰にも相談ができず一人で抱えていないか心配です。先生に話しにくい生徒は「心のつばき」や「私の安心チェックシート」に記入してください。学年で対応していきます。ご家庭と連携し一緒に解決していこうと考えていますのでご協力をお願いします。



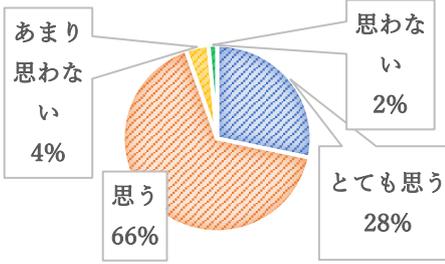
97%の生徒が肯定的な回答でした。今後も学級、各教科、生徒会活動、部活動、休み時間の何気ない会話など、今後も学校生活で、生徒の声に耳を傾け、寄り添うことを大切にしていきたいです。「あまり思わない・思わない」という生徒がいなくなるよう一人ひとりに関わっていき、家庭と密に連絡を取り合いながら生徒の自己肯定感を高められたらと思います。ご協力よろしくをお願いします。



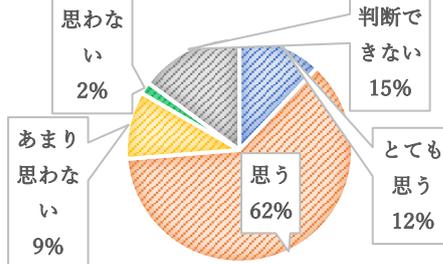
88%の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。いつもブログや学校だより、そのほかの案内、Sigfyのメールなどご覧いただき、ありがとうございます。今後も可能な限り、すべての保護者が理解できるようにルビ振りをしたり、お子様を通じてお伝えしたりして配慮したいと思います。また、載せてほしい内容がありましたら学校までお知らせください。

生徒

⑩学校は、生徒と先生で、誰もが安心して過ごす場所をめざすことができている。

**保護者**

10. 学校は生徒と先生で「誰もが安心して過ごす場所」をめざすことができている。



94%の生徒が肯定的な回答でした。「私の安心チェックシート」を実施し、生徒が悩んでいることや困っていることなど今後も活用してもらいたいと思います。必要に応じた個別支援など、インクルーシブ教育を推進した取り組みをしています。生徒、保護者の回答からみると、取り組みの成果が出ていると判断できますが、「あまり思わない・思わない」と回答された方にしっかりと対話し、少しでも安心できる居場所づくりをめざしていきたいと思ます。

自由記述より、より良い学校づくりの視点でお答えさせていただきます。

- ・不登校支援については、可能な限り生徒に合った支援をさせていただきます。ぜひ担任にご相談ください。
- ・防犯については、未然防止の職員研修を継続して実施していきます。また、今後敷地内の防犯カメラを増やし、生徒たちを守る体制を作ります。校外での指導については今後も警察と連携しながら行います。
- ・行事の代表者選抜（リレー、指揮者、伴奏者等）について、方法を改めました。教職員の共通認識のもとで行っていきます。
- ・指導内容についてのご意見について、制服や校則等については生徒会や SPTA で生徒や保護者からの意見を聞きながら決めていますのでご承知おきください。今後さらに生徒の心に伝えられるよう道徳教育を含め、より適切な指導方法を見つけながら伝えてきたいと思ます。